

町長地元懇談会(第15区)

平成28年4月26日(火)19:00~20:48 参加者25名

No.	質疑内容等	回答など	分野	回答者	備考
1	子育て支援施策の説明の中に多子世帯への報償制度があった。15区には多くの子どもがいる家庭がある。4~5年前にも町全体へ何らかの紹介ができないか提案をしたが、その当時は「前例がない」と断られた。明るい元気な家庭を多くの人にお知らせしてもらいたい。	まちなかに子どもが増えると地域の活力があがると感じる。ちびはる保育園が4月からモール商店街の中に移り、子どもたちの元気な声が商店街の中に聞こえており、商店街の活性化にもつながるのではないかと考えている。多子世帯への報償については、今までとは違った子育て支援施策として考えていきたい。【こども課長】 現在実施している基山町の子育て支援施策のなかの①子どもの医療、②交流広場、⑥放課後児童クラブは、まわりの市町にも引けをとらないが、多くの人々がそれを知らないため、アピールの仕方を検討していく。多子世帯の報償については、ご本人が望まれば、基山町の子育てのシンボルにして、全面に出して町のPRにも使わせていただきたい。報償金制度についても検討したい。【町長】	子育て支援	こども課長 町長	
2	趣味の延長だが、昨年は立派な桜島大根を収穫でき、役場に展示を頼んだりした。珍しいものを人目につくところに展示してもらうなどの情報発信の仕方もあるのではないかと。	農産物は、農業者だけではなく新たな参加者が売ってもいいと考えている。基山PAや通販事業、宅配、ふるさと納税など、アピールの方法がたくさんある。加速化交付金を使って基山の特産品をブランディングして基山の人や風景を映像で世界に発信しようとしている。またモール商店街の中央の植栽を取り、自由空間を使った新たな取組ができないか考えている。【産業振興課長】	PR強化	産業振興課長	
3	町は“打ち出の小づち”を持っているのか。人口が減少することが分かっているなら、税収の減少もわかるはず、説明されたこんなに多くの事業をどうやって実施していくのか。	どれだけ税収が減るのか試算はしている。だからこそ、今のうちに外から人を呼び込むことが重要と思っている。ここ5年が特に重要であるため、これからの1~2年で若い人を呼び込むことが勝負だと思っている。【町長】	税金 総合戦略	町長	
4	資料P10公共施設の表では、けやき台処理場がH11になっているが、建設されたのはH2年のはずである。	基山町が受け取ったのがH11年ということで、整理している。【町長】	公共施設整備	町長	
5	避難所開設のメール連絡のとき、基山町は食事を持参するように書かれている。災害用に食品の備蓄はないのか。小郡市や久留米市など他の市町のメールには食事を持参するように指示はない。	今回のご案内は自主的な避難のための自主避難所として開設した。毛布は準備しているものを使っても良かったが、自主避難所の場合、食事は持参してもらうこととなっている。いざ、実際の災害となれば、基山の備蓄している食糧を提供する。災害時用の食品については、人口の5%の1日分にあたる2,500食を備蓄している。加えてイオングループなどの企業と協定を結んでいる。備蓄品の消費期限等の関係で、備蓄と協定とで災害に備えている。【総務企画課長】 備蓄品については、1度目の消費期限が間もなく来るので、訓練等の時に試食をしてもらうなどして、入れ替えていく。学校の防災教育のなかでも食べさせることを考えている。【町長】	防災	総務企画課長 町長	
6	基山町の地震計はどこに設置しているのか。役場がまだ新しく、山間部にあるので、設置場所が頑丈で揺れを感知していないのではないかと。	震度計設置の基準に基づき、役場に設置している。【副町長】	防災	副町長	
7	たくさんの説明を聞いたが、基山町にとって、何が一番必要なのか。基山はいいところだと思っている。農業なのか、産業なのか、博多や久留米までのアクセスの良さなのか、高速道路も3号線もある。友人が基山に住み、いいところだと言っていた。共働きのため福岡へ転出していった。しかし、福岡から見ると佐賀は遠いイメージがついているようだ。どっちの方向を向いていくのか分からない。税収にも限りがあるので、特化していかなければならないと思う。	今回説明した施策のなかから、皆さまのご意見を聴きながら、優先順位を考えて、特化して取り組んでいきたいと考えている。【町長】	総合戦略	町長	
8	子育て支援施策には学力レベルが大事だと思う。学校のレベルアップが施策のなかから抜けている。福岡県とは試験内容も違い、佐賀県のレベルは低いと聞く。現在の基山町の学力レベルはどれくらいか。教育力があることを言わないと人は呼べない。	教育委員会、学校、校長と協力して学力の向上に努めている。4月に学力調査テストがあった。内容をよく理解して解いていく難しい問題であった。基山町全体としては、佐賀県内の平均より少し高い。若基小学校は全国でもトップレベルである。指導主事を主体に学校と協力して取り組んでいる。一方で、試験の点数アップだけの対策をしているのではないかと批判もある。今の子どもたちの状態を知るために学力調査をしているという基本が重要だが、どうしても学校の平均点で結果が出る。上位の子ども、下位の子どもがいるが、個々が伸びる取り組みをして、全体のレベルを上げるようにしていきたい。【教育学習課長】 教育力があるということを言わなければ人を呼べないと思っているが、学校のレベルが高いことだけを言いつぎるとあまりよくない。現在基山町全体のレベルは、上向きである。【町長】	教育	教育学習課長 町長	
9	児童の通学路で危険な場所がある。白坂地区から若基小学校へ向かう路地が狭い。児童が立ち止まって車が通り過ぎるのを待っている状況。通学時間の朝7~8時と夕方3~4時の車の通行を制限ができないか。	通行規制については、警察に相談する。一方で、車で通行しているのも地元の方だと思われるので、不便になることも考えられる。地区内でも協議をお願いしたい。【町長】	道路	町長	

町長地元懇談会(第15区)

平成28年4月26日(火)19:00~20:48 参加者25名

No.	質疑内容等	回答など	分野	回答者	備考
10	高齢者がコミュニティバスの停留所で立って待っている状況がある。ベンチを1~2つ用意できないか。	コミュニティバスの主要なバス停には、ベンチを設置するように予算をとっている。今年度中に、ベンチを設置する。【まちづくり課長】	道路	まちづくり課長	
11	根幹は人口問題だと思う。基山から出て行った方々の転出理由は分析できているのか。転入させることも大事だが、出ていかせない施策も重要だと思う。総合戦略は出されているが、戦術が見えてこない。町民の総力をあげて、戦術を成り立たせるべきだ。町外の方々は、福岡市内まで久留米は近いとの感覚だが、佐賀は遠いというイメージが大きい。25分で福岡へ通勤できるのは強みである。戦略的なPRが足りない。攻めなければならない、数値化して見える化していかなければならないと思う。	転出は、就職、進学や結婚のときなどだが、詳細な分析はできていない。【町長】	人口減少PR強化	町長	
12	以前は市町合併の話が出ていた。新町長はどう考えているか。	行政サービスがまわりの市町より劣ったとき、また町の財政が破綻したときに合併の話が出てくると考えているが、頑張っ、伸びている町を目指したいので、今日現在、合併は考えていない。【町長】	市町合併	町長	
13	子育て支援施策については、かなりたくさんメニューがある。ハード面とソフト面を合わせて、施策を区分して明確にすることが必要ではないか。他の市町村との競合になっている。他よりも優れているところをアピールしてほしい。	基山町には優れている施策がある。ただ施策をならべてみても、比較が難しい。PRをきっちりしていきたい。【町長】	子育て支援	町長	
14	基山にも断層が通っていると聞いた。震度7クラスの地震が起こる可能性がある。防災について、避難所となっている公民館や小学校などへの対応や建物の耐震は大丈夫か。	町内には日向峠-小笠木峠断層がある。糸島方面から来ているものであるが、この断層で今までに地震の起こった記録はない。基山町では震度7.2を想定した防災計画を作っている。災害の時の指定避難所の総合体育館や学校体育館などは耐震構造になっている。各区の公民館等も使うこともあると思う。食糧品は、1日分2,500食の備蓄も行っている。災害発生から1日を超えれば、援助が届くと想定している。【副町長】 防災の協定をイオン、コメリ、コカコーラなどと結んでいる。基山町は小さい町なので災害時には早い対応ができると思っている。【町長】	防災	副町長 町長	
15	けやき台朝市をまちづくり基金を使って行っている。アンケート調査があったが、けやき台の人口減がほぼ基山町の人口減と言っている。サ高住も大事だが、けやき台の人が住みやすいようにしてほしい。朝市には50~60人が来ている。毎週日曜日にボランティアでおこなっている。運営について専門の方を配置できるよう道筋を作ってもらえないか。また朝市の基金の使用方法について、ジュースくらいはOKにしてもらえないか。H28年度で基金事業が終了するため、自主運営について不安に思っている。	まずは、まちづくり課や産業振興課などの担当課に進め方について相談してほしい。支援補助については、見直しを考えている。盛り上がるようにけやき台の基盤を作してほしい。【町長】	その他	町長	
16	アンケート調査があったが、その後結果はどうだったのか。	思った以上に町中心部に移り住みたい希望が多かった。無理にけやき台から移らせる意図はないが、いろんな条件等があるので、丁寧に対応していきたい。【町長】	定住促進	町長	
17	道路の話はどうなったのか。もうなくなったのか。	なくなっていない。国などの予算の都合で、後ろ倒しになっているが、進めている。平成31~32年度には開通する。【町長】	道路	町長	
18	もしも震災が起こり、けやき台の高架水槽に被害があれば、けやき台1,400世帯全体が断水になる。タンクは昭和の時代につくられたものであるため、耐震の基準等に合っていないのではないか。検証してほしい。また、阪神淡路大震災から基準が変わっているのではないか。	昭和56年に改正され強化された耐震基準に基づき建設されているので、耐震性はあると考えている。その後診断等を行い、耐震補強をしているので、診断結果等については確認する。高架水槽も建築基準では工作物であるため、耐震基準は満たしていると思っている。特にライフラインと直結しているものなので、東部水道企業団の調査についても確認する。【建設課長】 水道事業については、町単独でないで、後日確認する。【町長】	防災	建設課長 町長	
19	アンケート調査に対して、NHKの報道があったが、ホームページには掲載するつもりがないと聞いた。フィードバックされないのか。	ホームページにも掲載するよう準備をする。【まちづくり課長】 協力いただいた方々には、結果をお知らせするのがいいと思う。すぐに対応する。【町長】	定住促進	まちづくり課長 町長	

町長地元懇談会(第15区)

平成28年4月26日(火)19:00~20:48 参加者25名

No.	質疑内容等	回答など	分野	回答者	備考
20		<p>産業振興課では、農業、林業、商業、工業、観光、サービス、労働、消費者行政と幅広く担当し、垣根を越えて対応している。昨年からは産業振興協議会を立ち上げた。基山町の農業は、攻めの農業には向いていないが、集落営農等の取り組みを進めていくこととしている。また企業にとって、立地は良い武器であるため、基山町内での雇用希望はたくさんあると感じている。企業支援として、町独自のIターン、Uターンを希望する者等への説明会を実施するなど計画している。【産業振興課長】</p>	産業振興	産業振興課長	